

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人 太良町社会福祉協議会

目 次

1. 会務の運営ならびに連絡調整	
(1) 理事会の開催	2
(2) 監事会の開催	4
(3) 評議員会の開催	6
(4) 評議員選任・解任委員会の開催	6
2. 役職員研修並びに会議等への参加	
(1) 役職員等研修	7
(2) 町内（行政・関係法人等）会議	8
3. 会費納入実績	8
4. 事 業	
(1) 児童福祉事業	9
(2) 援護事業	9
(3) 老人福祉活動事業	10
(4) 生きがい対策事業	10
(5) 障がい者福祉事業	12
(6) 福祉一般	13
(7) 機関誌「心」発行	20
(8) 貸付事業	20
(9) シルバー人材センター事業	21
(10) 介護保険事業	21
(11) 地域福祉推進事業関係	21
(12) 総合福祉保健センターしおさい館の指定管理	22
(13) 関連団体事務取り扱い	27

令和4年度 太良町社会福祉協議会事業報告

1. 会務の運営ならびに連絡調整

円滑な会務運営ならびに事務執行を図るため、次のとおり理事会・監事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会の開催

期 日	出 席 者	議案及び議決状況
06/03	理事 8名中 8名出席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 3名出席	<p>【議決事項】</p> 第1号議案 理事候補者の選任案について 第2号議案 評議員候補者の推薦について 第3号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 第4号議案 定時評議員会の招集について 第5号議案 令和3年度事業報告並びに決算の承認について 第6号議案 令和4年度一般会計資金収支補正予算（第1号）（案）について
		以上6議案 原案どおり可決
		<p>【報告事項】</p> 報告第1号 理事の辞任について 報告第2号 評議員の辞任について 報告第3号 令和3年度下期における会長及び常務理事の職務の執行状況について 報告第4号 福祉推進事業補助金交付要綱の改正について

11/04	理事 8名中 7名出席 1名欠席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 2名出席	<p>【議決事項】</p> 第1号議案 シルバー人材センター事業に係る請負金額の改正について 第2号議案 介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス（第1号通所事業（介護予防通所介護相当サービス））の廃止について 第3号議案 令和4年度一般会計資金収支補正予算（第2号）（案）について 第4号議案 定款施行細則の改正について 第5号議案 理事会運営規程の改正について 第6号議案 就業規則の改正について 以上6議案 原案どおり可決 <p>【報告事項】</p> 報告第1号 令和4年度上期における会長及び常務理事の職務の執行状況について 報告第2号 令和4年度定期監査の結果について 報告第3号 事業継続計画（BCP）について 報告第4号 消費税適格請求書発行事業者の登録について
03/24	理事 8名中 8名出席 監事 2名中 2名出席 事務局職員 3名出席	<p>【議決事項】</p> 第1号議案 苦情解決第三者委員の選任について 第2号議案 令和4年度一般会計資金

		<p>収支補正予算（第 3 号） （案）について</p> <p>第 3 号議案 令和 5 年度太良町社会福祉協議会事業計画並びに一般会計資金収支予算（案）について</p> <p>以上 3 議案 原案どおり可決</p>
--	--	--

(2) 監事会の開催

期 日	出 席 者	監査の対象・方法・結果
05/25	監事 2 名中 2 名出席	<p>監査対象</p> <p>令和 3 年度社会福祉法人太良町社会福祉協議会事業報告及び決算</p> <p>監査方法</p> <p>令和 3 年度事業報告書・決算に関する貸借対照表・財産目録及び資金収支計算書・事業活動収支計算書について、諸帳票の提出を求め、職員から事情を聴取し、以下の事項を主眼点に監査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容は、定款及び関係法令に準拠し、公明かつ適正に行われたか。 ・ 業務及び事業の執行については、所期の目的に沿って効率的で適正な執行がなされたか。 ・ 決算の計数は正確であるか。 ・ 財産の管理や運営は適正か。 <p>監査結果</p> <p>(1) 事業報告等の監査結果</p> <p>①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況</p>

		<p>を正しく示しているものと認める。</p> <p>②理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。</p> <p>(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果</p> <p>計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認める。</p>
10/14	監事 2名中 2名出席	<p>監査対象</p> <p>令和4年度事業進捗状況及び一般会計（上期分）</p> <p>監査方法</p> <p>貸借対照表・収支計算書（サービス区分ごとの内訳表を含む）等の諸帳票の提出を求め、職員から事情を聴取し、以下の事項を主眼点に監査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款及び規程等に準拠し、業務及び事業の執行は適正か。 ・定款及び規程等の整備状況について。 ・計数は正確であるか。 ・財産の管理や運営は適正であるか。 <p>監査結果</p> <p>業務及び事業の執行は、定款及び諸規程に則り、適正であると認める。</p>

		<p>貸借対照表は、関係帳票及び証拠書類等を照合した結果、正確であり、資産と負債の状況を正しく示していることを認める。</p> <p>収支計算書は、収入と支出の状況を正しく示していることを認める。</p>
--	--	--

(3) 評議員会の開催

期 日	出 席 者	議案及び議決状況
06/24	理事 2名出席 評議員 10名中 7名出席 3名欠席 監事 2名出席 事務局職員 2名出席	<p>【議決事項】</p> <p>第1号議案 理事の選任について</p> <p>第2号議案 令和3年度決算書類（貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書））及び財産目録の承認について</p> <p>以上2議案 原案どおり可決</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第1号 令和3年度事業報告</p>

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

期 日	出 席 者	議案及び議決状況
06/14	<p>【出席委員】</p> <p>外部委員 2名</p> <p>監 事 2名</p> <p>事務局員 1名</p> <p>【その他の出席者】</p> <p>事務局長 1名</p> <p>【欠席委員】 なし</p>	<p>選任候補者の情報提供、審議及び議決</p> <p>(1) 候補者の履歴</p> <p>(2) 候補者とした理由</p> <p>(3) 候補者と本会及び本会役員(理事、監事)との関係</p> <p>(4) その他候補者に関する情報</p> <p>以上の結果、森川陽子評議員（行政）、松本惇評議員（身障会）、及び中村直巳評議員・浦田進評議員（区長会）、以上4名を選任</p>

2. 役職員研修並びに会議等への参加

(1) 役職員研修等

期 日	出席者	内 容	開催地
4月22日	職員 1名	県シルバー人材センター連合会事務局長会議	佐賀市
5月18日	職員 1名	生活困窮者支援体制構築プラットフォーム整備説明会	佐賀市
5月25日	職員 1名	市町社協職員連絡協議会役員会及び総会	佐賀市
5月26日	職員 1名	災害ボランティアに関する情報共有会	佐賀市
6月3・9日	職員 1名	新任職員研修会	佐賀市
7月1日	職員 1名	佐賀県生活支援コーディネータ連絡会	佐賀市
7月5日	職員 1名	社協事業継続計画（BCP）策定支援研修会	佐賀市
7月8日	職員 1名	市町社協災害ボランティアセンター設置・運営研修会	佐賀市
7月9日	職員 1名	ひきこもり家族セミナー	佐賀市
7月27日	職員 2名	杵藤地区社協連絡会	江北町
7月29日	職員 1名	重層的支援体制整備後方支援事業研修会	佐賀市
8月4日	職員 1名	社会保険研修会	佐賀市
8月20日	職員 1名	21世紀社会福祉セミナー	佐賀市
8月24日	職員 2名	地域共生社会実現に向けた包括的支援体制整備	ZOOM
8月31日	職員 1名	佐賀県プラットフォーム整備事業町担当者全体会議	佐賀市
9月1~2日	職員 1名	生きがい・助け合いサミットin東京	東京都
9月16日	職員 1名	市町社協災害ボランティアセンター設置・運営研修会	佐賀市
9月30日	職員 1名	社協事業継続計画（BCP）策定支援研修会	佐賀市
10月1日	職員 1名	赤い羽根共同募金運動開始式	佐賀市
10月21日	職員 2名	杵藤地区社協事務局長及び職員研修会	江北町
10月28日	職員 3名	佐賀県生活支援コーディネータ連絡会	武雄市
10月29日	職員 1名	おもやい地域共生センターそよぎプレオープンセレモニー	武雄市
11/10・12/6	職員 1名	家庭教育支援者リーダー等養成講座	佐賀市
11月16日	職員 1名	年金委員・健康保険委員研修会	武雄市
11月18日	職員 1名	安全運転管理者講習	嬉野市
11月21日	職員 1名	九州八県赤十字	宮崎市
11月25日	職員 2名	カナミックシステムに関する概要説明会	太良町
12月22日	職員 2名	エリア別市町社協地域福祉担当者連絡協議会	佐賀市
1月27日	職員 2名	佐賀県生活支援コーディネータ連絡会	佐賀市
2月9日	職員 1名	災害時における協働研修会	大町町
2月15日	役職員等7名	社協役員(理事・監事・評議員)職員合同研修会	佐賀市
2月22日	職員 1名	チームオレンジコーディネータ養成研修	佐賀市

2月27日	職員 2名	生活支援コーディネータフォローアップ研修	佐賀市
2月22日	職員 1名	共募市町支会・市町社協事務局長会議	佐賀市

(2) 町内（行政・関係法人等）会議

期 日	内 容	主 催 者
4月26日	SAGA2024 国社 [○] ・全障社 [○] 実行委員会総会	太良町
4月27日	ボランティア連絡協議会代表者会議	太良町ボラ連
6月8日	生活困窮者自立支援事業説明会	県自立支援センター
6月20日	太良町地域公共交通・活性化協議会合同会議	太良町
6月24日	小規模多機能ホームゆい・宅老所おおうら運営推進会議	NPO 法人ゆたたり
6月28日	太良高校いじめ・体罰等対策委員会	太良高校
7月25日	太良高校教科用図書検討委員会	太良高校
7月25日	太良高校学校運営協議会	太良高校
8月23日	太良町民生委員推薦会	太良町
9月1日	太良高校学校運営協議会（地域連携部会）	太良高校
12月14日	議会総務常任委員会との意見交換会	太良町議会
1月20日	太良町地域公共交通・活性化協議会合同会議	太良町
1月24日	太良町プラットフォーム事業会議	太良町
1月26日	ボランティア連絡協議会役員会	太良町ボラ連
2月8日	SAGA2024 国社 [○] ・全障社 [○] 実行委員会総務企画専門委	太良町
2月24日	太良高校いじめ・体罰等対策委員会	太良高校
3月3日	ボランティア連絡協議会役員会	太良町ボラ連
3月24日	ボランティア連絡協議会役員会	太良町ボラ連

3. 会費納入実績

種 別	会 員 数	前年対比	金額（円）	前年対比（円）
一般会費	2,434世帯	△15世帯	1,217,200	△7,700
賛助会費	7件(8口)	△5件	40,000	△25,000
特別会費	7件(7口)	△1件	7,000	△1,000
合 計			1,264,200	△33,700

※一般会費（1世帯当たり500円） 賛助会費（1口5,000円）

特別会費（社協役員に依頼 1口1,000円）

【使途】福祉推進員活動、ボランティア連絡協議会活動助成、地域活動団体助成
機関誌発行など

4. 事業

(1) 児童福祉活動

① 子育て相互支援事業

事業内容と目的	
<p>住民同士の相互支援を基本とし、外出や所用の際、幼児や児童を連れていくことが困難な場合に、子供を一時的に預かる事業。また、保育施設や学校からの送迎も行っており、子供を預かる「協力会員」、子供を預ける「利用会員」をコーディネートし、事業を円滑に運営する。</p>	
◇登録会員の状況	
利用会員数	66名
協力会員数	27名
◇利用回数及び利用時間の実績	
託児延べ利用回数	8回
託児延べ利用時間	23時間（平均利用時間 約2.5時間/回）
託児利用実人数	5名
集団託児	1回 1時間 託児人数 30名
◇協力会員研修会及び連絡調整・交流会等の実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・協力会員連絡会議等（協力会員の情報交換） 7回 ・交流会・イベント等（身体測定・クリスマス会等の交流事業） 幼児136名/保護者120名/サポーター93名 ・託児 幼児39名/サポーター11名 ・自由サロン（保護者同士の自主交流） 幼児175名/保護者244名 ・その他宣伝活動（機関誌「心」への掲載、チラシ配布、母子手帳アプリ配信） 	

② サンタがおうちにやって来る事業

⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止

(2) 援護事業

事業名及び期日	対象者数	内 容
① 福祉サービス 利用援助事業	契約件数0件 (R5.3.31現在) 対応延べ件数 34件	認知症や障害により判断能力が不十分となり、福祉サービスを利用できない方に、「情報提供・手続き・契約・支払い・調整」等一連の手続きを支援する。

② 食糧等提供支援事業	延べ 16 名 (23 回)	生活困窮者からの相談（食糧を購入する金銭が無いなど）に対応するため地域住民や関係団体（フードバンクさが、県社協等）から提供された現物を給付
③ 緊急生活支援事業	支援 0 件 0 名	支援者無し

(3) 老人福祉活動事業

事業名及び期日	参加者数	内容
① 一人暮らし歳末 買物ツアーと歳末 プレゼント配布	買物参加者 9 名 プレゼント配付 213 名	たらふく館、ララベル 安否確認を目的とする

事業主催者＝太良町民生委員児童委員協議会

② ここ見てキット（緊急時要援護者見守り支援事業）

緊急時に、関係機関等への迅速な連絡に資するため、75 歳以上の一人暮らし高齢者等を対象に、緊急連絡先やかかりつけ医等を明記した個人情報台帳を入れた専用容器を冷蔵庫に保管する。

(4) 生きがい対策事業

① 生きがい対応型デイサービス事業

家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等に対し、通所による生きがい活動等の各種サービスを提供することで、社会的孤立感の解消及び自立生活の促進を目的とする。

実施月/回数	延利用者数	主な行事・レクリエーション
4 月 16 回	122 人	自分のデイ計画書作成・鯉のぼり作製
5 月 14 回	100 人	ピンポン玉入れゲーム・輪投げ
6 月 18 回	119 人	誕生会・ビンゴゲーム・ひまわり種まき
7 月 16 回	112 人	七夕祭り・もぐら踏みゲーム
8 月 16 回	126 人	風船花火・地図パズル・スカットボール
9 月 16 回	121 人	誕生会・県知事訪問・キックボーリング
10 月 16 回	121 人	火災・災害避難訓練・紅葉飾り工作
11 月 16 回	124 人	塗り絵・お手玉
12 月 16 回	107 人	誕生会・正月飾り作製

1月 5回	42人	自分の今年目標立て・ボーリング
2月 15回	114人	節分豆まき・折り紙吊るし飾り製作
3月 19回	139人	誕生会・ビンゴゲーム
合計 182回	1,347人	

内容；送迎・バイタルチェック・入浴・昼食おやつ提供・レクリエーションを実施
 ※太良町介護予防事業として

- ア. 運動機能向上（太良病院理学療法士によるリハビリ指導） 19回/年
- イ. 認知症予防支援（太良病院作業療法士による脳トレ指導） 23回/年
- ウ. 口腔機能向上（歯科衛生士による口腔ケア指導） 2回/年
- エ. 栄養改善指導（管理栄養士による栄養指導） 8回/年

② 生活管理指導員派遣事業

社会適応が困難な高齢者に対して、生活管理指導員（ヘルパー等）を派遣し、対象者の日常生活に対する指導・支援を行い、要介護状態への進行を予防することを目的とする。

- 利用者数 1名
- 年間派遣時間数 45時間
- 本人負担額合計 6,750円（150円/時）
- 町委託料合計 60,750円
- 収入合計額 67,500円

③ 外出支援サービス事業

内 容	利用者延数/年
生きがい対応型デイサービス利用者送迎 (182日運行)	1,347人

④ 移送サービス事業

車椅子等を利用している概ね65歳以上の在宅高齢者を対象に、車椅子のまま乗車できる専用移送用車両を用いて通院や日常的な社会参加等を支援。

区 分	人 数	備 考
利用者（登録者）	9名	通院等介助（4回/月以内で4時間以内/回）
運転協力員	5名	運転協力員登録者数
年間延利用単位数	154単位	1単位＝2時間以内
年間活動回数	106回	

⑤ 介護予防教室事業

概ね 65 歳以上の方を対象に、体力向上や認知症予防を目的に各種教室を開催

教室名	実施回数	延べ参加者数
脳健康教室（さくら教室）	43 回	849 名
脳健康教室（転ばん塾）	41 回	605 名
筋力アップ教室	133 回	1,151 名
絵手紙教室	22 回	120 名
童謡を歌おう教室	16 回	257 名
デジカメ教室	23 回	158 名
男の料理教室	9 回	94 名
お絵描き教室	11 回	49 名
音楽介護予防教室	11 回	90 名
合計	309 回	3,373 名

⑥ 元気貯金キャンペーン

しおさい館の利用者を対象に要介護状態への進行を防止し、介護予防への意識付けを目的に毎日実施

【メニュー】テレビ体操・健康ゲーム・健康歩行・計算ドリル・健康スクワット

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
期間	6 月 1 日～6 月 30 日 【18 日間】	10 月 1 日～10 月 29 日 【16 日間】	2 月 1 日～2 月 25 日 【15 日間】
時間	13 時～14 時	13 時～14 時	13 時～14 時
人数	利用者数 51 名 利用者延べ数 270 名	利用者数 55 名 利用者延べ数 266 名	利用者数 49 名 利用者延べ数 246 名

(5) 障がい者福祉事業

① 障がい者ふれあいグラウンドゴルフ大会（太良町身障会主催事業の支援）

期日・会場	令和 4 年 5 月 19 日（木）・B&G 海洋センター運動広場
参加人数	29 名（会員 20 名・一般 9 名）
目的	障がい者のふれあい・交流を図るために実施

② 初級手話講習会

回	期日	受講者数	回	期日	受講者数
1	11/9	12 人	4	12/7	10 人
2	11/16	11 人	5	12/14	7 人
3	11/30	13 人	6	12/21	7 人

受講者延べ人数 60 人

(6) 福祉一般

① 家族介護交流事業⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 太良町戦没者追悼式＝新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③ 福祉バス運営事業

社協事業や福祉団体等の研修等に福祉バスを運行

	延べ運行回数	社協事業	その他(団体)	乗車人員	走行距離
合計	16回	4回	12回	199人	981km
前年比	(△40)	(△38)	(△2)	(△392)	(△889)

④ 福祉推進員活動

町内全行政区に1名ずつ委嘱し、区長及び民生委員児童委員と協働で、住民の見守りや相談受付、社会福祉協議会の地域福祉活動推進に協力してもらう。

○福祉推進員会等の開催状況

第1回	6月29日(水) 33名	委嘱状交付 福祉推進員の役割について 太良町社会福祉協議会の事業について
第2回	2月17日(金) 11名	第18回太良町社会福祉大会への参加

⑤ 福祉用具等貸出事業

介護保険を利用できない在宅の高齢者や障がい者、帰省や病院からの一時帰宅などの場合に、電動式ギャジベッド、車椅子、チャイルドシート等を貸し出す。

貸出回数/年	チャイルドシート1回 ・ 車椅子8回
--------	--------------------

⑥ ボランティア事業（太良町ボランティア連絡協議会との共催並びに支援）

新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止や内容を変更し対応した。

ボランティア連絡協議会支援等	事務局 代表者会議(4/27) 役員会(1/26、3/3、3/24)
ボランティア保険への加入	224名
ボランティア協力校会議	5/13
ボランティア協力校補助金	220,000円(5校合計)

納涼夏まつり会場清掃ボランティア	7/31 (約 70 名参加)
24 時間テレビ募金ボランティア	街頭募金活動は中止 (募金箱設置などで募金活動を実施)
第 14 回はばたけ！ボランティア in 伊万里	不参加
赤い羽根共同募金街頭募金活動 (十夜市)	中止
第 11 回ボランティアフェスタ実施	3/17 (参加者 46 名)
ボラ連全会員一斉ワンボラ活動	10/15 (参加者 66 名)

⑦ 生活のお困り事相談所

生活を営む上で様々な要因で解決方法を見いだせず困っている世帯に寄り添い、地域の関係機関や地域住民等と一緒に解決方法を見つける。また、解決できない生活の困り事については新しいサービスや仕組みを検討する。

●相談者の男女比

男	89
女	81
合計	170

●相談内容 (困っていること)

生活支援	110
安否確認	1
精神不安	1
ひきこもり	3
一人暮らし	1
生活困窮	2
ボランティア調整	1
家庭内トラブル	1
貸付	12
金銭管理	18
問題行動	7
医療機関受診・入院	5
アルコール依存症	7
その他	1
合計	170

●対象者の状態

高齢	95
認知症	12
身体障害	6
精神障害	25
知的障害	4
聴覚障害	0
児童	0
一般	28
合計	170

⑧ じーばの仲人クラブ

老人クラブ連合会と連携し、結婚希望者の情報収集及び見合い等の仲介役・斡旋等を行い、婚姻率を高めることを目的とする。社会貢献活動により、世話役である高齢者の生きがいづくりにも資する。(令和 4 年度は成婚なし)

⑨ しおさい館学習会（学習支援事業）

経済的な事情等により学習塾や家庭教師等による有償の受験対策が困難な生徒に教職経験者等による学習の機会を提供する事業。※11月～3月 15回実施

学 校 名	多良中	大浦中	計
申 込 数	10(+1)	7 (Δ7)	17 (Δ6)
利用者延べ人数	97(Δ4)	88(Δ28)	185(Δ32)

指導者=4名 ()=対前年

⑩ 第18回太良町社会福祉大会

町内の福祉関係者や町民が一同に会し、福祉功労者に対する表彰や更なる地域福祉の増進を図るための記念講演等を実施する。

期 日：令和5年2月17日（金）10：00～12：00

参加者：118名

【式典】 福祉功労者表彰 16名・1団体
高額寄付感謝状贈呈 1名

【記念講演】 講師 大橋 謙策 先生
(公益財団法人テクノエイド協会理事長・NPO法人日本地域福祉研究所理事長)
テーマ「住み慣れた地域で安心した暮らしができる福祉で街づくり」

⑪ 太良町元気で長生き・イキイキとした幸せのまちづくり事業(生活支援体制整備事業)

「高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように地域作りを行うこと。介護予防活動に取り組むことにより健康的で自立した高齢者を増やすこと。」を目的に事業実施。

ア. 第1層協議体

【概要】

町内全域を対象とし、生活課題を整理・分析し、住民が自主的に活動できるようにするための方向性を住民と専門職が一緒になって話し合った。

【主な結果】

- ▶安心した生活を続けられるような地域づくりに向けて、困りごとの受け皿（社会資源）を開発・整理できた。
- ▶有償ボランティアの位置づけとなる社会資源の1つとして、シルバー人材センター内に「その他様々な生活の困りごとに対応するチーム」が誕生した。
- ▶社協の個別ケース（相談支援）へ対応する人材確保として有志の方によるボランティア組織「社協応援団」が誕生した。今後、よりきめ細やかな相談支援

活動が実施できるものとなる。

- ▶生活支援の人材確保と介護予防を兼ね備えて、しおさい館利用の高齢者を対象に有償ボランティア活動の試行を行った。高齢者の地域での役割づくりについて可能性を検討することができた。
- ▶太良町地域包括ケアシステム構築に向けた総合的な取り組みの在り方について話し合いができた。
- ▶専門職が実際に行っている個別相談支援ケースについて関係機関から議題提供し、対応困難な場面を検討し地域課題の抽出をすることができた。

会議	開催日	参加	会議	開催日	参加	会議	開催日	参加
第1回	4/14	11人	第4回	7/14	13人	第7回	11/10	13人
第2回	5/12	11人	第5回	9/8	10人	第8回	12/8	13人
第3回	6/9	13人	第6回	10/13	8人	第9回	3/9	14人

▶第1層協議体による試行活動

- ・1人暮らし高齢者の喫食の変化を検証する（令和3年度からの継続）
- ・しおさい館利用中の高齢者による地域の有償ボランティア活動

イ. 第2層協議体

【概要】

校区や行政区を対象に、生活課題の現状を踏まえ、地域の社会資源を活かし、高齢者の介護予防や安心した生活を維持するための活動に住民が自主的に参画し、住民目線で話し合い（協議）、実践していく。

【結果】

開催地区	開催日	主な内容
亀の浦	4/5	太良町開放型サロンの運営について
江岡	7/5	地区の高齢者支援方法について
亀の浦	7/8	太良町開放型サロンの運営について
江岡	7/29	地区課題と地区住民による取り組み方法
亀の浦	8/30	太良町開放型サロンの運営について
江岡	8/30	地区課題と地区住民による取り組み方法
江岡	3/17	地区における介護予防について
伊福	3/16	コロナ禍における地区の見守り活動について
江岡	3/18	地区住民による地域づくり活動
畑田	3/25	太良町と地区の将来について

ウ. 幸せの町づくりサポーター（さちサポ）

【概要】

生活支援体制整備事業の理念に賛同し、取り組みを応援する住民ボランティア組織。情報を共有し、解決方法を協議して問題解決に向けて取り組む。

【結果】

コロナ禍により、過密状態を避けるためクラブ単位（小グループ）や個人での活動が主となった。

《各クラブ活動話合いの開催》

クラブ名 (所属人数)	主な取り組み内容・テーマ	話合い・ 活動回数	延べ参 加人数						
移送クラブ (5人)	太良町の移送支援について	話合い 9回	32人						
	コミュニティバス・ベンチ点検	活動 1回	4人						
	介護予防教室への移送支援	活動者 50人	131人						
ながら ウォーキング (6人)	町内で健康ウォーキングしながら福祉ボ ランティア活動を行う。	話合い 1回	6人						
傾聴クラブ (8人)	高齢者宅へ訪問傾聴活動を実施	話合い 11回 活動件数 57人	62人 活動者 63件						
ご縁クラブ (21人)	太良町高齢者の生活課題について ご縁クラブを活性化するための勉強	話合い 5回	36人						
	窓拭き・重量物の移動・粗大ゴミ運搬・換 気扇の掃除・電球交換等	活動件数 79件	活動者 93人						
	※下表は年末の特別活動 (右記件数・人数には含まない)								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>日 付</th> <th>活動者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年末窓ガラス 拭き 29件</td> <td>12/3</td> <td>一般 32人 中高生 11人 計 43人</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	日 付	活動者数	年末窓ガラス 拭き 29件	12/3	一般 32人 中高生 11人 計 43人		
項 目	日 付	活動者数							
年末窓ガラス 拭き 29件	12/3	一般 32人 中高生 11人 計 43人							

エ. その他の取り組み

項 目	主な内容
元気高齢者モデルの紹介番 組（ケーブルテレビ）への 取材協力	① にじいろサロン（R4.11放送） ② 天神の守（R4.12放送）

情報誌への掲載	「さあ、言おう 7月号」(さわやか福祉財団発行全国版地域共生社会作り情報誌) に特集として掲載
いきがい・助け合いサミット in 東京への参加	9/1~9/2 さわやか福祉財団主催 ① 分科会で、ご縁クラブの取り組みを報告発表 ② ポスター展で、投票の結果全国第2位に選出
ポスターによる住民への啓発活動	上記ポスター掲示 39 か所 チラシサイズのポスター配布枚数 290 枚 町報たら並びに社協だよりへの掲載
佐賀県地域生活サポーター養成講座	11/2 10:00~15:45 7名 ※訪問 B 型サービス活動者養成研修に該当する内容
地域サロン活動支援	地域住民が自主的に取り組んでいるサロン活動を支援。新規に立ち上げの 2 か所を含む、町内 15 か所にウイルス感染症対策、介護予防プログラムや運営方法等の支援

オ. 太良町地域包括ケアシステム研究会への参加と協力

【概要】

町内の医療、福祉、行政の各事業所が連携し、地域包括ケアシステムの構築を目的とする地域包括ケアシステム研究会への参加協力

【結果】

	コアメンバー会			研究会分科会	
	定例会・臨時会	在宅医療介護連携推進事業班	生活支援体制整備事業班	おひとり様サポート	異世代交流
4月	19日		14日		
5月			12日		
6月	14日	1日	9日	22日	3日 24日 28日
7月			14日		
8月					
9月			8日		29日
10月	25日		13日	18日	
11月			10日		
12月			8日		
1月					
2月					
3月			9日		

▶異世代交流分科会活動【福祉学習「超超高齢社会」】

太良町の超高齢社会が一層厳しくなる状況を、カードゲームで体験する
9月29日（木）13：40～15：30 大浦中学校1年生（32名）

⑫ 認知症総合支援事業

ア. 認知症地域支援・ケア向上事業に関すること

▶認知症カフェの設置、運営 ※多良会場7月、大浦会場11月開設

認知症カフェ名称	実施回数	延べ利用者数	延べ活動者数
しおさいカフェ（しおさい館）	87回	532名	106名
オレンジカフェ（多良会場）	15回	285名	56名
オレンジカフェ（大浦会場）	7回	94名	28名
合 計	109回	911名	190名

イ. 認知症サポーター活動促進、地域づくり事業に関すること

▶認知症サポーターとチームオレンジの活動

チームオレンジ活動内訳		
活動内容	延べ活動件数	延べ活動者数
傾聴	161件	309名
安否確認	14件	28名
外出の見守り	10件	16名
通院の付き添い	2件	3名
買い物の付き添い	2件	6名
家事支援	36件	53名
服薬の見守り	25件	50名
ガーデニング	1件	2名
サービス担当者会議への出席	7件	10名
地域ケア会議への出席	1件	1名
その他の活動	34件	70名
チームオレンジ会議	19件	270名
合 計	312件	818名

ウ. 認知症サポーター等養成事業（認知症サポーター関連の講座に関すること）

講座名	開催数	養成数
認知症サポーター養成講座	12回	184名
ステップアップ講座（チームオレンジ養成）	1回	9名

エ. 世界アルツハイマー月間イベント（認知症支援の普及啓発活動）

イベント内容		参加者数
9/10	VR 認知症体験会	41 名
9/13～17	映画 DVD 鑑賞会	123 名
9/17	認知症サポーター養成講座	14 名
9/13	サポーターステップアップ講座	9 名
9/1～30	しおさいカフェ（喫茶・ポスター、書籍展示）	112 名
9/1～30	オレンジカラーアクション （庁舎ライトアップ・バルーンアーチ設置 2 台・ のぼり旗設置・オレンジマスク等）	48 団体、事業所

⑬ 高齢者等の「働き場」創設事業（シニアマスター事業）

収入が少なく、また体力を必要とする仕事が困難な高齢者等（障害者）を対象に年間を通じ「働き場」を創設した。

- ・働き場：アカネカフェ（しおさい館ロビー）
- ・業務内容：飲料の提供
- ・活動日：火曜・水曜・金曜（活動時間 11：00～13：00）
- ・活動者：3 名（年間延べ活動者数：182 名）

☆共同募金運動の一助（1 杯あたり 100 円程度の募金） 累計額 102,522 円

(7) 機関誌「心」発行

号	月	表 紙	主 な 記 事
106	6 月	ぼっかばか広場 子育て相互支援事業	令和 3 年度事業報告・財産目録 令和 4 年度事業計画・当初予算 チームオレンジたら
107	9 月	認知症カフェ OPEN	介護予防教室の紹介 赤い羽根共同募金 会費御礼（社協・日赤）
108	1 月	ご縁クラブ窓拭き 歳末たすけあい事業	新年あいさつ いきいき倶楽部 アルツハイマー月間 共同募金運動報告
109	3 月	生活支援総合事業	生活支援体制整備事業 しおさいカフェ 共同募金運動結果報告 社会福祉大会 介護予防教室参加者募集

(8) 貸付事業

貸付種類	貸付件数	貸付金額
① 国民健康保険高額療養費貸付	貸付件数； 0 件	—

② 太良町福祉資金貸付		貸付件数； 0件	—
③ 生活福祉資金貸付事業 (県社協委託)	通常	貸付件数； 0件	(貸付残数；7件)
	特例	貸付件数； 4件	

※特例：新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金特例貸付

(9) シルバー人材センター事業

社会参加の意欲がある健康な高齢者に対し、その知識及び経験に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図る。

	令和4年度		前年度		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
公共	111	7,283,415円	96	5,300,280円	+15	1,983,135円
民間	17	1,162,520円	17	1,273,520円	±0	△111,000円
個人	219	5,763,835円	205	5,020,630円	+14	+743,205円
合計	347	14,209,770円	318	11,594,430円	+29	+2,615,340円

会員数 36名 (男性13名・女性23名) 【対前年 +9名 (男性+2名・女性+7名)】

(10) 介護保険事業 (介護予防・日常生活支援総合事業)

① 第1号通所事業 (デイサービスしおさい)

総合事業対象者に、送迎・入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供することにより、要介護状態にならないよう支援することを目的に実施。

○延べ利用者数(4月～11月) 33名

○11月末までで利用者数0人となり、令和5年3月で事業を廃止した。

② 第1号訪問事業 (訪問型サービスB)

総合事業対象者に、住民主体のボランティアが多様な生活援助等を行い、自立した生活が送れるよう支援することを目的に実施。

○延べ利用者数 59名

○年間派遣時間数 41.5時間

(11) 地域福祉推進事業関係

① 地域福祉活動補助金 (団体補助)

地域住民で組織する団体やボランティア団体など、地域が抱える課題や幸せの町づくり活動に積極的に取り組む事業に補助

- ・補助金原資 社協会費及び共同募金配分金
- ・審査会 (※新型コロナウイルス感染を防止するため中止)

団体名	補助金額	主な活動
商工会青年部	70,000 円	地域の子供達との交流活動
川原千本桜の会	100,000 円	地域住民交流活動
びっくりファーム	30,000 円	男性グループによる野菜畑づくり
太良町ボランティア連絡協議会	150,000 円	ボランティア連絡協議会運営費
ボランティア協力校補助	220,000 円	町内 5 校を対象とした活動費補助
保護司会	30,000 円	保護司会に対する運営費補助
天満宮を守る会	100,000 円	梅林跡地活用と地域住民交流
合 計 (7 件)	700,000 円	

② ふれあいいきいきサロン活動助成金

団体名 (地区)	回数	参加人数	助成額(円)
江岡さくら会 (江岡)	3	94	18,800
サロンさつき会 (本町)	13	152	29,400
北茶サロン (北町)	5	78	15,600
ことぶきサロン野崎 (野崎)	20	187	37,400
生き生き倶楽部 (平野)	20	120	24,000
今里コスモスサロン (今里)	13	135	27,000
野上笑顔サロン会 (野上)	18	179	35,800
端古賀サロン (端古賀)	10	118	23,600
広江サロン亀の瀬 (広江)	10	74	14,800
針牟田サロン (針牟田)	2	13	2,600
合 計 (10 地区)	114	1,150	229,000

(12) 総合福祉保健センターしおさい館の指定管理

① 施設の適正な維持管理

ア. 建物・設備の保守点検

利用者が快適・安全に利用できる施設管理を行うため、専門業者及び職員による点検を実施。

【点検】	
・ 建築設備定期点検及び報告 (県へ)	年 1 回
・ 建築設備巡回点検	月 1 回
・ 空気環境測定	年 6 回
・ 消防用設備定期検査 (年 2 回のうち総合検査を県へ報告)	年 2 回
・ 防火対象物定期検査 (特例認定より 3 年間報告免除)	年 1 回

・自動ドアの保守点検	年 4 回
・トレーニング機器の保守点検	年 1 回
・電気工作物保安点検	月 1 回
・しおさい館停電検査	年 1 回
・昇降機設備定期作業点検（うち 1 回の結果を県へ報告）	年 2 回
・昇降機設備リモート点検	月 1 回
・衛生マットの定期交換	月 2 回
・空調機フィルター清掃	年 6 回
・氷蓄熱装置保守点検うち 2 回は冷暖切替えも実施（春・秋） 令和 4 年 12 月より氷蓄熱装置から空冷チラー装置へ更新のため今年度の保守点検は 3 回実施	年 3 回
・濾過器、バイブラ装置保守点検	月 1 回
・真空式温水器（ボイラー）保守点検	年 2 回
・ティーサーバー保守点検	年 2 回
・ティーサーバーフィルターカートリッジ取替	年 1 回
・厨房冷凍冷蔵庫保守点検	年 1 回
【修理及び整備等】	
・厨房まな板殺菌庫の殺菌・乾燥タイマー各 1 個、リレー、殺菌ランプ 3 本交換	
・ティーサーバー内カートリッジ交換（年 1 回）	
・福祉棟中庭外壁タイル補修工事	
・福祉棟 2 階東側廊下天井漏水補修工事実施	
・自動ドア駆動部ベルト交換（内側、外側各 1 本）	
・ろ過機内ろ材交換（5 年に 1 回分）	
・保健棟調理実習室入口引き戸ワイヤー交換	
・保健棟の全エリアの照明を LED へ更新	
・福祉棟一階渡り廊下奥の天井板にシミがあった部分を交換	
・厨房給湯器 1 台更新	
・福祉棟全エリア、玄関ホールの照明を LED へ更新	
・厨房 4 面冷蔵庫 1 台を更新	
・保健棟指導室エアコン 4 基を更新	
・浄化槽内フロートスイッチセンサー 4 個更新	
・デマンドシステム警報ブザー本体更新	

<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー室内給湯ラインポンプ (P-6) 更新 ・ボイラー室内温水配管の玉フレキ (JK-100、JK-65、JK-32) 更新 ・食堂ティーサーバーの冷水タンク攪拌モーター更新 ・保健棟タイルカーペット更新 ・氷蓄熱装置から空冷チラーへ更新 ・2階ホールに3人掛けソファ2脚設置 ・憩いの間、和研修室の上がり口にサポート用の手すりを設置 (各1台) ・2階浴室トップライトのヒビ対策補修工事実施 ・保健棟西側テラス側溝脇陥没部分修復工事実施 ・厨房スチームコンベクション浄軟水器カートリッジ交換 (年1回) ・2階浴槽用ろ過機ポンプ更新工事 ・憩いの間へ間仕切り目隠し用の衝立 (小2台)、和研修室へ同衝立 (小1台) 設置 ・保健棟女子トイレ (和式) 床剥がれによる一部分貼替え工事実施 <p>【植栽管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽樹木管理 (シルバー人材センターによる作業) 	
--	--

イ. 環境衛生業務

日々の清掃及び定期清掃を実施することで衛生的で快適に利用できる環境づくりに務めた。

<p>【清掃及び消毒など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内清掃 (シルバー人材センター及び職員) ・定期巡回清掃 ・定期 (床) 清掃 ・窓ガラス清掃 ・窓ガラス水アカ除去 ・トイレ撥水 ・浴槽内排水による清掃 ・受水槽の清掃と消毒 	<p>毎 日</p> <p>週 1 回</p> <p>年 6 回</p> <p>年 4 回</p> <p>年 1 回</p> <p>年 1 回</p> <p>週 1 回</p> <p>年 1 回</p>
--	---

・グリストラップ清掃	年4回
・排水管高圧洗浄	年1回
・ボイラー室から浴槽までの循環配管内薬品洗浄	年1回
・手洗い場排水パイプ洗浄	年2回
・保健棟調理実習室ガスコンロ周辺清掃	年6回
・定期薬剤散布による害虫駆除	年2回
・グリスフィルター清掃	年2回
・排気ファン清掃	年1回
【検査】	
・飲料水の水質検査	年2回
・浴槽水レジオネラ菌検査	年2回
・ボイラー煤煙測定検査	年2回
・浄化槽法定検査	年1回
・地下タンク検査	年1回

ウ. 夜間受付及び警備業務

事故や犯罪防止のために専門業者に業務を委託して閉館後の安全管理に努めた。

- ・17時以降閉館まで（シルバー人材センター）
- ・閉館から翌朝開館まで（警備会社委託による機械警備）
- ・事故発生等に対応できる警備体制確認

エ. 災害時の体制及び対応

事故や災害が発生した場合を想定し、緊急連絡網を整備し緊急時に備えた。

- ・消防訓練実施（厨房を含む全職員・シルバー人材センター会員・一般来館者）⇒年2回
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策の実施（入館利用制限、マスク着用要請、手指消毒の徹底、次亜塩素による拭取り消毒、入館時の検温、一般利用者とデイサービス利用者との区分けの徹底）

② 効率的な運営の取り組み

公共施設であるとしての経費削減に努めるとともに、増収に努めた。

- ・建物管理業務分離発注及び入札により経費削減を実施
- ・毎日、職員が清掃し清掃費の節減に努めた
- ・きめ細かな空調管理による消費電力節減
- ・電力監視制御装置（デマンドシステム）による最大需要電力量の監視
- ・自動販売機による手数料収入

③ 利用者の状況及び利用者増・サービス向上に向けた取り組み

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・館内行事及びその他お知らせの効果的な告知のため玄関ホールにてデジタルサイネージ運用 ・リサイクルショップの運営 ・夜間（17時以降）町内利用者の利用料半額サービスを継続 ・令和3年9月21日は敬老の日記念のため17時まで入館料無料 ・ヨガ教室（月3回金曜日） ・趣味クラブの利用 囲碁 染色 手話 ステンシル |
|--|

④ 利用者の状況 () 内は、夜間利用者再掲

年度	福祉棟利用者	保健棟利用者	合計	開館日数
令和4年度	17,848 (4,225)	7,789 (509)	25,637 (4,734)	244
令和3年度	18,484 (5,297)	7,740 (1,250)	26,224 (6,547)	237
令和2年度	18,300 (5,576)	7,166 (1,039)	25,466 (6,615)	244

※新型コロナウイルス（オミクロン株）感染拡大予防のため令和4年6月4日から佐賀県内在住者のみの利用に限定

※新型コロナウイルス（オミクロン株）感染拡大予防のため令和4年7月14日から未就学児の利用制限開始

※令和4年10月1日利用制限解除

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため令和5年1月12日午後より令和5年1月20日までしおさい館臨時休館

⑤ 行政関係等による利用

- ・各種相談 行政、人権、無料法律、行政書士、消費生活、もぐもぐ乳児、精神保健福祉、2ヶ月児の各相談 外
- ・健診等 一般、特定、乳幼児、がん、歯科、レディースの各健(検)診、特定保健指導、予防接種 外
- ・会議等 農業委員会、同和問題研修会、母子保健推進員会議、食生活改善協議会会議、地域ケア会議、介護保険説明会 外
- ・その他 町老人クラブ連合会事業 外

⑥ 広報活動・苦情・意見対応ほか

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ・要望箱の設置 | ・太良町コミュニティバス利用についてのサポート |
| ・社協だより及び本会ホームページによる情報発信 | |

(13) 関連団体事務取り扱い

① 佐賀県共同募金会太良町支会

- (i) 赤い羽根共同募金 募金総額 1,525,065 円
- | | | | | | |
|------|-----------|------|-----------|--------|-----------|
| 戸別募金 | 846,535 円 | 街頭募金 | 0 円 | 法人募金 | 220,000 円 |
| 学校募金 | 27,693 円 | 職域募金 | 146,073 円 | イベント募金 | 33,548 円 |
| その他 | 251,216 円 | | | | |
- (ii) 地域歳末たすけあい運動募金 募金総額 283,047 円
- | | |
|------------------------------|-----------|
| 75歳以上一人暮らし安否確認プレゼント配布・買い物ツアー | 52,547 円 |
| 75歳以上一人暮らし年末ご縁クラブ窓拭きお手伝い活動 | 10,505 円 |
| 次年度一般配分金への繰越金 | 219,995 円 |
- (iii) 災害義援金の受付 しおさい館義援金箱 1,348 円
- (IV) 県共同募金会より災害見舞金 全焼火災 0 件 0 円

② 日本赤十字社佐賀県支部太良町分区

- (i) 世帯からの受入会費総額 1,332,420 円
- (ii) 県支部からの災害見舞金 0 円 (全焼火災 0 件)
- (iii) 県支部から救援物資配布 0 件
- (IV) 県支部からの交付金 173,215 円
- (V) 災害義援金の受付 0 件 0 円

③ 太良町民生委員児童委員協議会

- (i) 定例会開催 12 回/年 一斉改選に伴う退任就任式 (12/1)
- (ii) 補助金に関する事務取扱い 町補助金 2 件 県社協補助金 2 件
- (iii) 事務費出納事務 687,000 円
- (IV) 活動費出納事務 3,350,000 円